

尚餘の事予り記を負敷とお遠をお件
を見て刻々大山一邑の言ハふ七る一斗
二斗九合と一託は見えたり

城山の東ハ大山邑の中央よりて道林寺
廣恩寺勝安寺あり西ハ高橋山之南
普念寺あり山ハ愛宕の表西法寺松尾社
普法寺あり山南をあたし山を後と
お後は廣幡の堤二ツあり境内の用水と
山下に堀あり農民耕作の爲た右ハ是を
狭め今ハ帯を引りおとし城地ハ皆畑とお

まじり此方を見れば穠桑緩々ハ濃羅一
人毎年三月十六日城山に上りて拝む

一 陣屋

近代官の居館なり常ハ下代を至秋月遍
下向一徳毛の普恩氏の可忍祈記の事
勅令さる寛文八年申十一月酒井佐中
成幸去大山館公収さる後所居屋を
建て役人を置れしとて建始し百
寛文八年申占正徳三己年と記十六年の
間此館又ハ近代官姓名更代おの年季未考